

目次

はじめに p001

第1章 ヒト 感染症の歴史秘話

新型コロナウイルスの世界的流行でわかったこと p014

メディアの報道や政局が被害を大きくも小さくもする p019

消毒の父、ゼンメルワイスの悲劇 p024

▼ コラム 正しい手洗いの実践と手洗い歌 p030

病理学者、初のノーベル賞への道のり p034

みえなかったピロリ菌 p036

▼ コラム 世界保健機関（WHO）のロゴマークのへびの謎 p038

1964年の東京オリンピックと感染症 p040

赤痢菌やコレラ菌はなぜ先進諸国で弱毒化しているのか p042

ノーベル賞受賞の特効薬、イベルメクチンの発見 p045

エボラ出血熱に挑む医療者の勇気と現実 p048

エボラ出血熱患者が日本の私立病院に入院したら p051

▼ コラム 日本最初の院内感染 p054

第2章 病原体・感染症Q & A

病原体と感染症を正しく理解するために p056

病原体とは何ですか？ 人体にどのような影響を及ぼすのですか？ p057

人体に棲んでいる菌にはどのようなものがありますか？ その影響は？ p060

感染症はどのようにして人にうつるのですか？ p064

▼ コラム 飛沫感染と空気感染の違い p069

潜伏期間ってどういうこと？ p070

ペットからうつる感染症はあるのですか？ p072

世界的にみた場合、感染症の状況はどうなっているのでしょうか？ p076

感染症と伝染病の違いは何でしょうか？ p079

「パンデミック」とはどのような意味ですか？ p082

がんも感染症と聞きましたが、本当でしょうか？ p083

感染症の診断は、どのように行なわれるのでしょうか？ p085

感染症を特定するために使われる顕微鏡診断とは？ P089

▼ コラム レーベンフックの顕微鏡 p092

よく耳にするワクチンとは、感染症の特効薬みたいなものですか？ p093

感染症の治療はどのように行なわれるのでしょうか？ p096

▼ コラム 歴史に残るポリオワクチン導入大作戦 p099

第3章 日常に潜むウイルス、細菌、カビの巻

1 インフルエンザウイルス p101

2 日本紅斑熱リケッチア（リケッチア・ジャポニカ） p109

▼ コラム 日本紅斑熱を発見した開業医、馬原文彦先生 p113

3 ミュータンス菌 p114

4 サルモネラ p117

▼ コラム 平安時代の人々も悩まされたサルモネラ p120

5 肺好性レジオネラ（レジオネラ・ニューモフィラ） p121

6 人喰いバクテリア症① 溶血性レンサ球菌 p126

7 人喰いバクテリア症② ビブリオ・ブルニフィカス p130

8 常在菌による壊死性筋膜炎 p133

9 ガス壊疽菌 p137

ジフテリア菌 p141

髄膜炎菌 p146

結核菌 p151

10 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA） p156

トリコフィトン・トンズランス（白癬菌） p160

▼ コラム スリッパからの院内感染に注意！ P164

第4章 寄生虫症の恐怖の巻

1 原虫類① アカントアメーバ p166

2 原虫類② クリプトスポリジウム・パルヴム p170

3 原虫類③ リーシュマニア・ドノヴァニ p174

4 原虫類④ 皮膚リーシュマニア原虫 p177

5 原虫類⑤ 熱帯熱マラリア原虫 p180

▼ コラム パナマ地峡開発によるマラリアと黄熱病の犠牲者 p185

6 線虫類① アニサキス幼虫 p187

7 線虫類② 旋尾線虫の幼虫 p192

8 線虫類③ 回虫 p196

9 線虫類④ 蟯虫 p201

線虫類⑤ 糞線虫 p296

▼ コラム 糞線虫症の特効薬 p211

線虫類⑥	非病原性線虫の幼虫	p212
線虫類⑦	広東住血線虫線虫類	p213
線虫類⑧	顎口虫線虫類	p220
線虫類⑨	動物性回旋糸状虫（オンコセルカ）	p225
線虫類⑩	イヌ糸状虫（イヌフィラリア）	p229
吸虫類①	肝蛭	p232
吸虫類②	横川吸虫	p235
吸虫類③	ビルハルツ住血吸虫	p238
▼ コラム	住血吸虫対策の裏表	p243
吸虫類④	トリ住血吸虫の幼虫（セルカリア）	p246
吸虫類⑤	宮崎肺吸虫	p250
条虫類①	日本海裂頭条虫（サナダムシ）	p254
条虫類②	マンソン孤虫	p259
条虫類③	有鉤囊虫（有鉤条虫の幼虫）	p263
条虫類④	エキノコックス（多包条虫）	p266
▼ コラム	礼文島から撲滅されたエキノコックス症	p269
節足動物①	ゾエア（エビやカニの幼生）	p271
▼ コラム	サーファーやダイバーに多い納豆アレルギー	p274
節足動物②	ニキビダニ（毛包虫）	p275
節足動物③	チリダニ	p278
節足動物④	疥癬虫（ヒゼンダニ）角化型疥癬	p281
▼ コラム	歴史を変えた疥癬の話	p284
節足動物⑤	アタマジラミ（虱）	p286
節足動物⑥	ウジ虫（ハエの幼虫）	p290
節足動物⑦	オオチョウバエの幼虫	p293
▼ コラム	尿にみつかったヒルガタワムシの謎	p296

第5章 驚きの性感染症の巻

1	子宮腔部の細胞診標本	p298
2	ガードナー菌	p302
3	カンジダ・アルビカンス	p305
4	膣トリコモナス（トリコモナス原虫）	p308
5	歯肉アメーバと放線菌	p311
6	淋菌	p315
▼ コラム	淋病（gonorrhea）の語源	p319
7	クラミジア・トラコマチス①	p320

- ▼ コラム コンドームの歴史 p325
- 8 クラミジア・トラコマチス② p 327
- 9 単純ヘルペスウイルス p330
- 10 B型肝炎ウイルス p334
- 11 梅毒トレポネーマ① p339
- 12 梅毒トレポネーマ② p342
- 13 軟性下疳菌（デュクレイ菌） p345
- 14 がん原性粘膜型ヒトパピローマウイルス p347
- 15 良性粘膜型ヒトパピローマウイルス p350
- 16 伝染性軟属腫ウイルス p354
- 17 疥癬虫(ヒゼンダニ) p357
- 18 ケジラミ p359
- 19 エイズウイルストトキソプラズマ・ゴンディ p362
- 20 赤痢アメーバ p366
- 21 常在性細菌による陰部壊疽フルニエ壊疽 p370
- 22 子宮内膜の生検標本 p373
- ▼ コラム 江戸時代の腎虚は勃起障害のこと p375
- あとがき p 377